

農山漁村地域整備計画における事後評価

1 計画の概要

計画の名称	安全で快適な漁村づくり
計画策定主体	青森県
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）
計画事業費	2,117,954千円
計画の目標	①漁港関連道の整備により、冬期間における渋滞の解消及び漁獲物等の輸送時におけるトラフィック機能の向上とともに輸送コストの削減を行い、安全で快適な漁村づくりを目指す。 ②海岸保全施設の整備により、漁村の越波・浸水被害を防止する。 ③外郭施設等の整備により、安全で効率的な水産物の供給体制をつくる。 ④漁業集落排水施設により生活雑排水を処理し放流することによって、安全で快適な漁村づくりを目指す。 ⑤漁業集落排水処理施設の機能保全計画策定により、効率的な維持管理体制の構築を図る。

2 交付対象事業の進捗状況

地区名	事業実施主体	関係市町村	事業内容（計画）	事業内容（実績）	工期	計画事業費（実績）（千円）	進捗状況
①漁港関連道整備事業							
野牛	青森県	東通村	漁港関連道 L=700.0m	漁港関連道 L=354.0m	H25～H29	188,700	次期計画で継続実施（漁港関連道 L=346.0m）
十三	青森県	五所川原市	漁港関連道 L=275.0m 漁港関連道（仮橋） N=1.0式	漁港関連道（仮橋） N=1式	H27～H29	70,000	次期計画で継続実施（漁港関連道 L=275.0m）
②海岸保全施設整備事業							
一本木	青森県	今別町	離岸堤 L=400.0m 護岸 L=941.5m	離岸堤 L=63.0m	H26～H29	256,570	次期計画で継続実施（離岸堤 L=337.0m、護岸 L=941.5m）
大畑	青森県	むつ市	人工リーフ L=170.0m	人工リーフ L=170.0m	H27～H28	103,618	事業完了
津軽沿岸	青森県	深浦町他	老朽化調査 11海岸	老朽化調査 6海岸	H26～H29	74,921	次期計画で継続実施（老朽化調査 5海岸）
陸奥湾沿岸	青森県	平内町他	老朽化調査 16海岸	老朽化調査 11海岸	H26～H29	57,448	次期計画で継続実施（老朽化調査 5海岸）
下北八戸沿岸	青森県	大間町他	老朽化調査 15海岸	老朽化調査 9地区	H26～H29	141,079	次期計画で継続実施（老朽化調査 6海岸）
③漁村再生交付金事業							
関根	むつ市	むつ市	用地護岸 L=231.4m 用地（新設）A=2,658㎡	用地護岸 L=141.0m 用地（新設）A=764㎡	H26～H29	127,500	次期計画で継続実施（用地護岸L=90.4m、用地（新設）A=1894㎡ほか）
百目木	横浜町	横浜町	3.5m航路 A=5,800㎡ -3.0m泊地 A=8,900㎡ ほか	3.5m航路 A=5,800㎡ -3.0m泊地 A=8,900㎡ ほか	H26～H28	105,060	事業完了
茂浦	青森県	平内町	護岸 L=110.0m 船揚場 L=20.0m 用地舗装 A=10,600㎡ 道路 L=160.0m	護岸 L=52.5m 船揚場 L=5.5m 用地舗装 A=4,800㎡	H27～H29	191,000	次期計画で継続実施（護岸 L=57.5m、用地舗装A=5,800㎡、道路 L=160.0m）
④漁業集落環境整備事業（事業実施）							
北金ヶ沢	深浦町	深浦町	集落排水施設 処理場 N=1棟 管路 L=4,576m 漁業集落道 L=405.0m	集落排水施設 処理場 N=1棟 管路 L=2,196m	H27～H29	531,960	次期計画で継続実施（集落排水施設 管路 L=2830.0m、漁業集落道 L=405.0m）
清水川	平内町	平内町	集落排水施設 管路 L=2,877.0m	集落排水施設 管路 L=911.5m	H27～H29	253,988	次期計画で継続実施（集落排水施設 管路 L=1965.5m）
⑤漁業集落排水整備事業（機能保全計画書策定）							
大間越	深浦町	深浦町	機能保全計画 N=1.0式	機能保全計画 N=1式	H27	5,910	事業完了
牛滝	佐井村	佐井村	機能保全計画 N=1.0式	機能保全計画 N=1式	H28～H29	10,200	事業完了
14地区						2,117,954	

3 事業効果の発現状況

①漁港関連道整備事業
<ul style="list-style-type: none"> 野牛地区は、関連道整備で一部供用されたが、遺跡が発見され本調査に期間を要したことから、計画期間内の事業完了には至らなかった。 十三地区は、仮橋を整備したが、河川協議の結果、実施期間が制約され不測の日程を要したことから、計画期間内の事業完了には至らなかった。
②海岸保全施設整備事業
<ul style="list-style-type: none"> 一本木地区は、離岸堤の整備により背後集落0.8haの越波・浸水被害が防止されたが、計画期間内の事業完了には至らなかった。 大畑地区は、人工リーフの整備により背後集落1.1haの越波・浸水被害が防止され、H28年に事業完了した。 津軽沿岸地区、陸奥湾沿岸地区及び下北八戸沿岸地区は、海岸保全施設の老朽化調査及び長寿命化計画を策定した結果、背後集落366.6haを防護する施設の維持管理体制が構築された。しかし、詳細調査に時間を要したことから、計画期間内の事業完了には至らなかった。
③漁村再生交付金事業
<ul style="list-style-type: none"> 百目木地区は、水域施設の整備及び漁港付近の照明灯の整備により漁港施設内の安全性及び夜間交通の安全性が改善されたことから、安全で効率的な水産物の供給体制が確保され、H28年に事業完了した。 関根地区は、用地造成及び標識灯等を整備を進めてきたが、他事業との調整に不測の日数を要したことから、計画期間内の事業完了には至らなかった。 茂浦地区は、用地造成及び船揚場の整備を進めてきたが、ホタテ養殖作業時期による漁業調整に不測の日数を要したことから、計画期間内の事業完了には至らなかった。
④漁業集落環境整備事業（事業実施）
<ul style="list-style-type: none"> 北金ヶ沢地区及び清水川地区は、漁業集落排水処理施設を整備を進め一部供用開始したが、道路管理者との協議により工事期間に制約があったことから、計画期間内の事業完了には至らなかった。
⑤漁業集落環境整備事業（機能保全計画書策定）
<ul style="list-style-type: none"> 大間越地区及び牛滝地区は、機能保全計画書の策定により効率的な維持管理体制が構築され、H27年及びH29年に事業完了した。

4 成果目標の目標値の実現状況

成果目標	目標値	実績値	達成率
①漁港関連道を整備し、効率的な輸送機能を有する漁港を2港増やす。	2港	0港	0%
②海岸保全施設を整備し、防護面積469haを確保する。	469.0ha	368.5ha	79%
③外郭施設等の整備により、安全で効率的な水産物の供給体制を有する漁港を3港増やす。	3港	1港	33%
④生活雑排水を漁業集落排水処理施設で処理し、BOD20mg/L以下の水質で放流する漁村を2地区増やす。	2地区	0地区	0%
⑤漁業集落排水処理施設の機能保全計画書策定により、効率的な維持管理体制を有する地区を2地区増やす。	2地区	2地区	100%

5 実現状況に対する評価

<ul style="list-style-type: none"> ●①は事業を進めてきたが、遺跡の本調査や河川協議により事業完了に至らなかったことから、指標を達成できなかった。 ●②は防護面積を約8割確保できたことから、指標を概ね達成したものと評価できる。 ●③は事業を進め1地区完了したが、2地区は他事業や地元漁業との調整により事業完了に至らなかったことから、指標を達成できなかった。 ●④は、事業を進めてきたが、道路管理者との協議及び工事期間の制約により事業完了に至らなかったことから、指標を達成できなかった。 ●⑤は、2地区分の機能保全計画書を策定し効率的な維持管理体制を構築できたことから、指標を達成したものと評価できる。
--

6 今後の方針

<ul style="list-style-type: none"> ●事業完了地区は、適正な維持管理の実施により、事業効果の継続的な発現を図る。 ●事業が完了せず、計画目標を達成できなかった地区は、次期計画において継続して整備を行い、計画期間内の事業完了を目指す。

7 第三者の意見

<ul style="list-style-type: none"> ●事業完了した地区については定量的な効果が認められる。また、引き続き効果が発現されるよう維持管理を行っていただきたい。 ●本計画内で事業完了しなかった地区については、次期計画での事業完了に努めていただきたい。 ●予算確保に努め、期間内の事業完了を目指していただきたい。 ●成果目標の実現状況について、定量的な評価に加え、定性的な評価も行っていただきたい。 ●成果目標は整備量を明示するなどして、県民の方にも分かりやすい指標としていただきたい。
